

令和2年4月2日

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う不整脈アブレーション診療に関するお願い

日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション委員会 委員長 山根禎一

同 副委員長 井上耕一

日本不整脈心電学会 理事長 野上昭彦

新型コロナウイルスの感染拡大は世界各国に及んでおり、収束の見通しは立っておりません。日本でも都市部を中心として感染者が急増しており、その対応のために医療現場は機能不全の危機に瀕しています。そこで、学会員の所属する各医療機関での不整脈アブレーション患者対応について、下記の通りお願い申し上げます。

### 1. 不要不急のEPSおよびカテーテルアブレーション治療の回避

待機的なEPSおよびカテーテルアブレーション治療など、緊急性が低いものについては可能な限り当面延期を考慮し、症例数の削減に努めて下さい。これはアブレーション患者への、そしてアブレーション患者からの感染の機会を減らす意味があります。また、医療従事者がコロナ対策業務の増加とともに過度に疲弊しないための対策でもあります。これはあくまで推奨であり、最終的には患者さんと相談の上、各病院の方針に従って判断して下さい。

### 2. アブレーション治療を施行する場合

飛沫発生の可能性を伴う手技(経食道心臓超音波、食道温度計挿入など)に関しては適応を吟味し、施行する場合には十分な感染防御体勢をとって下さい。

### 3. 企業社員の医療現場における立合いについて

従来の方針どおり医療機関との契約の範囲内で必要最小限とし、その際には万全の感染防御態勢をとるために、各医療現場においてその防具一式を提供して下さい。

学会員各位の不整脈診療に関しての真摯な対応とご協力をお願いします。